

厚 町 生 号
令和3年5月17日

北海道知事 鈴木 直道 様

厚真町長 宮坂 尚市朗

環境影響評価方法書に係る意見について（回答）

令和3年（2021年）4月12日付け環境第115号で照会のありました（仮称）苫東厚真風力発電事業 環境影響評価方法書について、下記のとおり回答いたします。

記

- 1 本事業について、配慮書時点から事業実施区域の見直しや事前の簡易的な調査を実施する等、周辺環境への一定の配慮はみられるものの、依然として周囲に住宅や事業所等、また動植物が生息・生育する自然環境が存在することから、専門家等と密に連携しながら環境影響の低減、回避に十分な予測・評価を行い、地域住民の理解が得られるよう丁寧な説明と誠意のある対応に努めること。
- 2 本事業により発生する騒音及び低周波音（超低周波音を含む）による健康被害について、地域住民より不安の声が寄せられていることから、騒音及び低周波音の影響について、国内外の最新の知見や専門家等の助言を踏まえるなど、十分な予測地点を設定し、適切に調査、予測及び評価を行うこと。
また、風車騒音によるわずらわしさ（アノイアンス）や風車の影（シャドウフリッカー）の影響についても、地域住民の生活等に影響が及ぶことのないよう、十分な低減が図られるように検討し、その結果を準備書に具体的に記載すること。
- 3 事業計画区域は、ラムサール条約登録湿地であるウトナイ湖の近傍に位置することから、動物、植物及び生態系の調査にあたっては、環境影響を的確に予測及び評価するため、対象生物の行動圏、分布域等をふまえ、調査の範囲、

地点、期間、時期及び調査方法等を適切に設定すること。

鳥類の渡り等の調査にあたっては、各種文献等からの情報収集、専門家からの意見聴取を行い、種に応じた調査地点、時期、方法等の検討を十分に行い、渡りの現況及び要因（人為的、自然的等）の分析・把握に努めること。

バードストライク（コウモリ類を含む）については、事業計画区域及びその周辺における生息及び飛翔状況等を調査し、最新の知見をもとに衝突リスクを解析・評価し、その結果をふまえて可能な限り、回避又は低減等の対策を行うこと。

- 4 自然景観や眺望景観に与える影響を調査し、良好な景観を阻害することのないよう十分に検証すること。
- 5 住民等への各種情報を提供するとともに、準備書段階においては、丁寧かつ誠実な説明会を行い、十分な理解が得られるように努めること。
また、説明会にあたっては、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、開催すること。
- 6 本意見に関する措置を講じるにあたっては、必要に応じ、関係機関と協議すること。

本事業計画については、住民等から自然環境、低周波音による健康被害、家畜への影響など懸念する声が寄せられている状況にある。

今後、周辺住民の理解と協力が得られるよう根拠ある低減措置或いは、環境影響評価を行い、住民の不安払拭に努められたい。

以 上